六中だより

文責
宮川英樹

避難訓練（地震・津波）を行いました。

六月二十四日に地震と津波を想定した避難訓練を実施しました。

避難訓練は、我々職員が生徒たちを安全に避難させるための訓練です。

今回はクラスに自力では歩行できなくなった生徒が発生したことも想定して行いました。

訓練の二日後には、八代で実際に震度四を観測した地震が発生し、地球から「気を抜くなよ」と言われたような気がしました。

八代市のホームページにあるハザードマップでは、六中校区のほとんどが津波発生時は五ｍ未満の浸水域とされており、六中の校舎は避難場所とされています。

緊急時の身を守る訓練は、二学期以降も実施していきます。

熱中症事故防止のために

令和３年度には、学校管理下において２千件を超える熱中症事故が発生しています。

今年度は６月中に梅雨が開けており、毎日３０℃を越える日が今後続くとみられます。学校でも十分気を付けます。御家庭でも次の件につきまして御協力と御理解をお願いします。

①水筒の持参をお願いします。スポーツドリンクも可としています。気温や体調、部活動の参加の有無等にあわせて量を調節してください。

②登下校中のマスクは不要としています。学校でも声をかけますが、登校の際に御家庭からも声をかけていただくと助かります。

③教室では、エアコンを入れています。しかし、換気のために窓を一部開けています。したがって、教室の位置によって寒暖の差があります。寒い場合は冬の体操服で調整するようにしています。

④熱中症アラート等により教育活動の急な変更（行事の中止や早めの下校等）もあります。

定期考査の結果について

先日、各学年では、前期の中間テストの結果が配付されました。特に１年生は、初めて順位のついた結果が届き、いろんな思いがあったと思います。

生徒たちには言っていることですが、成績は他の人と比べるものではありません。過去の自分と比べるものだと思っています。そのものさしとして、順位を活用してください。

かけっこと同じで、５０人が、よーいドン！で走れば１位から５０位まで順位が必ずつきます。そこでの順位が上の人が優れた人なのかというとそうとは言えません。

高校入試は、当日のテストと中学校３年間の成績を合わせて合否を決めます。中学校の成績とは通知表の５段階評価のことで、定期テストの結果ではありません。もちろん、定期テストの得点は５段階評価に影響はしますが、日頃の授業での発言や活動、ノート、提出物等も大切です。

あとがき

私が三十代後半の頃だったと思います。担当している部が、私が担当して初めて市の大会で優勝した時に、職員室で隣の席の先輩の先生に「昨日優勝しました。」と報告しました。すると、「そういえば（私の担当している部は）最近よく挨拶するようになったもんね」という言葉が返ってきました。

試合会場では、他校の生徒たちでもよく挨拶をしてくれます。私も負けないように元気よく挨拶をしているつもりです。その他、私の前を通る時に「失礼します」と言いながらしゃがんで早足で通る生徒もいます。

部活動やクラブチームで学んでいるスポーツ等では、その種目等の技術以外に日頃の生活に生かせる挨拶や礼儀、姿勢、思いやり等の大きな「学び」があります。その「学び」が重要だと思いますし、その「学び」が大きいほど技術も向上するように思います。

「姿勢がよくなるから、礼儀正しくなるから」と私も幼い頃剣道をすすめられました。